

## 今、やるべきことを着実に

市では、平成24年度から本格的な除染をスタートしました。昨年に引き続き、学校施設や公共施設の除染を優先的に実施するとともに、個人住宅についても線量の高い大信地域から計画的に除染を進めています。今月号では、大信地域のモデル地区で行った個人住宅除染の結果や、設置を進めている土壌等の仮置き場の概要をお知らせします。

【屋根の除染（高圧洗浄）の様子】

### 土壌等の仮置き場

#### 国のガイドラインを基に適切に保管

除染で除去した土壌等の仮置き場は、「白河市除染実施計画」に基づき、合併前の4地域ごとに設置することとし、搬入後は、国が定める「除去土壌の保管に係るガイドライン」により適切に保管します。先に設置場所が決定した大信地域と表郷地域に続き、昨年11月には白河地域の仮置き場が決定しました。

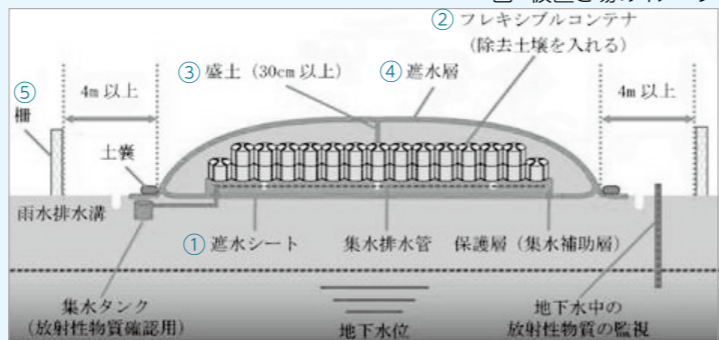
#### 白河地域の仮置き場

白河地域の仮置き場は、9月の供用開始を目指し、4月から造成工事に着手します。

#### 《概要》

- 場所 旗宿大久保地内（国有林）
- 面積 当初は3ha、段階的に10haまで増設
- 想定搬入量 20万㎡
- 造成工事 4月～9月（9月に供用開始予定）
- 保管方法 地上2段積方式

図：仮置き場のイメージ



#### ■仮置き場の構造

除染現場で発生した除去土壌等は、フレキシブルコンテナに入れて仮置き場に搬入します。搬入したものは2段積みにして保管します。

- ①汚水が地下に浸透しないよう遮水シート等を敷設する。
- ②土壌等はフレキシブルコンテナ等でこん包し、遮水シート等の上に2段積みにして配置する。
- ③積み上げたフレキシブルコンテナの上に、30cm以上の土をかぶせます。
- ④雨水浸入防止のため遮水シートなどで覆う。
- ⑤設置場所の周囲を柵で囲む。

### ■自主的避難等に係る追加賠償金の請求

東京電力による「自主的避難等に係る追加賠償金」の請求に関する書類は、2月13日から発送が開始されました。内容をご確認のうえ、請求手続きを行ってください。なお、住民登録をされていない方は、請求書類が郵送されませんので、東京電力への申し出が必要です。詳しくは、専用ダイヤルにお問い合わせください。

- 自主的避難等相談専用ダイヤル ☎0120-993-724 ※午前9時から午後9時まで

#### <臨時相談窓口の開設>

市役所本庁舎1階正面玄関ロビーに、臨時相談窓口が開設されています。

- 時間 午前9時～午後5時（平日のみ） ※3月6日(火)まで

### 仮置き場に関するQ&A

- Q1、放射能を含んだ土壌等を集積するのは危険ではないのですか？  
➡ 除去した土壌等は、フレキシブルコンテナに入れて仮置き場に搬入します。搬入したものは、上の図のように2段積みにし、30cm以上の土をかぶせます。これにより、98%以上の放射線量が遮断されます。結果的には、仮置き場を設置した場所の線量も低減するため、周辺地域の放射線量の低減にもつながります。
- Q2、仮置き場にはどのようなものを搬入して保管するのですか？  
➡ 仮置き場への搬入物は次のとおりです。  
①これまで学校等の除染作業で除去した土壌・草木など（校庭に埋設している土壌も含みます）  
②町内会の除染作業で除去した土壌・草木など  
③ホットスポット除染事業で個人住宅内に保管してある土壌など  
④今後の除染で発生する土壌・草木など
- Q3、仮置き場にはいつまで保管するのですか？  
➡ 国は、平成26年度末までに中間貯蔵施設を設置することになっています。設置後に順次搬出します。

☎本庁舎放射線対策室 ☎01111 内2189



#### 子どもたちの未来のために

今回の除染で、放射線量の数値が下がったと聞いて、少し安心しました。

時間は掛かるとは思いますが、子どもたちの未来のためにも、除染によって、市内全体の線量が少しでも低減することを願っています。



日仙町内会長 添田修一さん  
Shuichi Soeta

### 個人住宅の除染結果

高さ1cmで平均51%の低減

- 個人住宅の除染は、昨年の11月から、大信地域の日仙・赤仁田地区をモデル地区とし、先行的に作業を開始しました。個人住宅の除染で行う作業内容は、次のとおりです。
- 屋根 ふき取り、ブラシ洗浄、高圧洗浄、高効率吸引式高圧除染
- 雨どい ふき取り、洗浄
- 表土 はぎ取り、入れ替え
- その他 芝の深刈り、庭木の枝打ち、せん定など

これまで、モデル地区内すべて（29戸）の住宅の除染が完了しました。除染前後の平均値の比較では、高さ1cmで0.48マイクログシーベルトから0.35マイクログシーベルト（低減率27%）、高さ1cmでは0.39マイクログシーベルトから0.19マイクログシーベルトに低減（低減率51%）しました。今後はモデル地区の結果を踏まえ、より効果的で効率的な除染方法を確立し、「白河市除染実施計画」により順次範囲を広げ、平成27年度完了を目指して取り組みます。